

環境活動レポート

〔期間 平成22(2010)年4月～平成23(2011)年3月〕

ヒビノメディアテクニカル株式会社

平成23(2011)年4月20日発行

事業内容

事業所名 ヒビノメディアテクニカル株式会社

代表者名 中島 義人

所在地 〒135-0016 東京都江東区東陽3丁目23番9号

電話番号 TEL:03 - 5677 - 1924

FAX番号 FAX:03 - 5677 - 1910

環境管理責任者 西村 伸二

事業内容 映像音響機器のレンタル、オペレーション、催事の企画・運営、労働者派遣及び職業紹介

資本金 3500 万円

従業員数 97人

売上高 194,014万円（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

事業所の延床面積 1,981.78㎡

事業所の敷地面積 1,155.75㎡

環境方針

基本理念

当社は、社員一人一人が地球環境保全が人類共通の課題であることを認識し、環境負荷の継続的低減及び持続的に発展できる経済社会の実現に取り組みます。

当社は、映像音響機器のレンタル、オペレーション、催事の企画・運営、労働者派遣及び職業紹介それぞれの事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識した上で、当社の全事業活動において、特に以下の環境保全活動を推進します。

行動指針

1. 二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。
2. 廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。
3. 総排水量（水の総使用量）の抑制、削減に取り組みます。
4. 従業員一人ひとりが環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組みます。
5. 環境に関わる法令・規則・協定及びその他の要求事項を遵守します。

2010（平成22）年12月20日

ヒビノメディアテクニカル株式会社

代表取締役社長 中島 義人

環境目標とその実績

平成22(2010)年度
(平成22年4月～平成23年3月)

環境方針	環境目標			実績 (達成率)
	内容	中長期目標 平成26(2014)年度	今年度目標 平成22(2010)年度	
1. 二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。	101 車両から出る二酸化炭素を削減する。	平成22(2010)年度比 5%削減	平成21(2009)年度比 2%(297)削減	103%
	102 本社から出る二酸化炭素を削減する。	平成22(2010)年度比 5%削減	電気使用量を記録する	達成
2. 廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。	201 本社から出る事業系一般廃棄物を削減する。	事業者への委託量をH22(2010)年度値から5%削減する	事業者への委託量を記録する	達成
3. 総排水量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組みます。	301 本社の水の総使用量を削減する。	水の総使用量を平成22(2010)年度から5%削減する。	水の総使用量を記録する	達成
4. 従業員一人ひとりが環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組みます。	401 環境方針の全社的展開	全従業員が環境活動計画を分担する	環境保全意識の高揚と、環境目標、環境活動計画の策定への従業員の参画	達成
事業所名	ヒビノメディアテクニカル株式会社			

主要な環境活動計画の内容

平成22(2010)年度
(平成22年4月～平成23年3月)

弊社の環境活動計画を、環境方針、環境目標と関連付けてとりまとめた。

環境方針	環境目標			環境活動計画
	内容	中長期目標 平成26(2014)年度	今年度目標 平成22(2010)年度	今年度目標 平成22(2010)年度
1. 二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組めます。	101 車両から出る二酸化炭素を削減する。	平成21(2009)年度比 5%削減	平成21(2009)年度比 2%(297)削減	101 給油量の月別測定・監視
	102 本社から出る二酸化炭素を削減する。	平成21(2009)年度比 5%削減	電気使用量を記録する	101 エコドライブの徹底
2. 廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組めます。	201 本社から出る事業系一般廃棄物を削減する。	事業者への委託量をH21(2009)年度値から5%削減する	事業者への委託量を記録する	102 必要でない照明、電源を消す。
				102 エアコンの設定温度を夏28度、冬22度を目安とする
3. 総排水量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組めます。	301 本社の水の総使用量を削減する。	水の総使用量を平成21(2009)年度から5%削減する。	水の総使用量を記録する	201 分別の徹底により再資源化物を増やす。
4. 従業員一人ひとりが環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組めます。	401 環境方針の全社的展開	全従業員が環境活動計画を分担する	環境保全意識の高揚と、環境目標、環境活動計画の策定への従業員の参画	301 水を使用する場合は、こまめに蛇口を開閉するなど節水に心がける。
				401 グリーン購入の推進
事業所名	ヒビノメディアテクニカル株式会社			

環境活動の取組結果の評価

平成22(2010)年度
(平成22年4月～平成23年3月)

環境方針	環境目標			環境活動計画	評価
	内容	今年度目標 平成22(2010)年度	実績 (達成率)		
1. 二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。	101 車両から出る二酸化炭素を削減する。	平成21(2009)年度比 2%(297)削減	103%	101 給油量の月別測定・監視	
	101 エコドライブの徹底			101 エコドライブの徹底	
2. 廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。	102 本社から出る二酸化炭素を削減する。	電気使用量を記録する	達成	102 必要でない照明、電源を消す。	
				102 エアコンの設定温度を夏28度、冬22度を目安とする	
2. 廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。	201 本社から出る事業系一般廃棄物を削減する。	事業者への委託量を記録する	達成	201 分別の徹底により再資源化物を増やす。	
3. 総排水量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組みます。	301 本社の水の総使用量を削減する。	水の総使用量を記録する	達成	301 水を使用する場合は、こまめに蛇口を開閉するなど節水に心がける。	
4. 従業員一人ひとりが環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組みます。	401 環境方針の全社的展開	環境保全意識の高揚と、環境目標、環境活動計画の策定への従業員の参画	達成	401 グリーン購入の推進	
				401 ペットボトルキャップ回収活動の展開によるCO2削減と途上国へのワクチン提供	
事業所名	ヒビノメディアテクニカル株式会社				

凡例 完璧に達成 十分に達成 達成
まだ改善の余地がある 達成していないので、是正処置が必要である。

【総評】

2010年度(平成22年度)が始まってまもなく、親会社からの一部事業受入と、それに伴う社屋の移転を行うこととなり、7月に事業移管、8月に社屋移転を行いました。この為、これまで蓄積していたデータを基にした環境活動を行なう事ができず、改めてデータの記録から取り掛かることとなりました。そのような中でも、車両の給油量に関しては、昨年度に比べて売り上げが増加し、台数も1台増加したにもかかわらず、目標値を上回る削減値を上げることができたのは、従業員に環境に対する意識が芽生えてきたことの表れであると判断しています。

新社屋では旧式のエアコンによる電力の大量消費や、漏水による排水量の異常数値など、問題点が何点ありましたが、資金の投入や家主様の協力により、改善を図る事ができました。今年度から来年度にかけての展開としては、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、全国的に節電等の気運が高まった事から、大きな値での削減が実現できるものと見ていますが、これを定着させ、より一層の環境負荷の低減につなげていけるよう対策を図って参ります。

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

弊社の遵守しなければならない環境関連法規として、廃棄物処理法、消防法、東京都環境確保条例及びそれらに関連する江東区条例等があります。

弊社では、これらの法規制遵守のために、これらの法規制の一覧表を作成し、定期的に遵守状況をチェックすることにより、違反のないことを自主的に確認しました。

なお、これらの法規制に対する関係当局からの違反の指摘、及び関連する訴訟は過去3年間ありませんでした。